

2009年度

科目名	文学研究技術論		
担当教員	足立 匡敏		
配当	日文2	コード	15140
開期	後期	講時	月曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	コンピューターを活用した日本文学研究(江戸と明治の短歌)		
目的と概要	この講義では、これからの学生生活において必要となる、情報収集の方法・データベース構築の方法・基礎文献の扱い方・レジュメの構成、発表の仕方について学びます。 授業では、江戸・明治の短歌を対象にして、(1)先行文献を集める、(2)本文データベースをつくる、(3)作成したデータベースを利用して考察する、(4)成果を発表する、という一連の流れを経験してもらいます。 江戸時代や明治時代の短歌については、まだまだ研究の余地があり、データベースを作成することで新たな知見が得られるかもしれません。積極的な取り組みを期待します。		
成績評価法	授業への取り組み方(60%)と発表(40%)などを総合的にみた上で評価します。		
テキスト	講義中に配付する教材・資料等で行います。		
参考書	授業中に指示する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
【第1回】ガイダンス この授業の目的・内容について 【第2回】江戸時代・明治時代の短歌について概説 【第3回】参考文献の探し方 【第4回】参考文献データベースの構築 【第5回】参考文献の読み方 【第6回】電子テキストの利用と問題点(1) 【第7回】電子テキストの利用と問題点(2) 【第8回】本文データベース作成(1) 【第9回】本文データベース作成(2) 【第10回】本文データベース作成(3) 【第11回】データベースを用いた分析と考察(1) 【第12回】データベースを用いた分析と考察(2) 【第13回】成果発表(1) 【第14回】成果発表(2) 【第15回】成果発表(3)			